

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】令和2年1月9日(2020.1.9)

【公表番号】特表2019-508187(P2019-508187A)

【公表日】平成31年3月28日(2019.3.28)

【年通号数】公開・登録公報2019-012

【出願番号】特願2018-551754(P2018-551754)

【国際特許分類】

A 6 1 F 13/45 (2006.01)

A 6 1 F 13/15 (2006.01)

A 6 1 F 13/53 (2006.01)

A 6 1 F 13/511 (2006.01)

A 6 1 F 13/514 (2006.01)

A 6 1 M 35/00 (2006.01)

【F I】

A 6 1 F 13/45

A 6 1 F 13/15 1 4 1

A 6 1 F 13/15 1 4 2

A 6 1 F 13/53 3 0 0

A 6 1 F 13/511 1 0 0

A 6 1 F 13/514 4 0 0

A 6 1 M 35/00 Z

A 6 1 F 13/511 5 0 0

【手続補正書】

【提出日】令和1年11月14日(2019.11.14)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0227

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0227】

上記から、本発明の特定の実施態様は、例示目的で本明細書で説明されているが、本発明の範囲から逸脱することなく様々な変更を行うことができることを理解されたい。従って、本発明は、添付の特許請求の範囲による限定を除き、限定されるものではない。

本件出願は、以下の構成の発明を提供する。

(構成1)

粘着防止材料を含む身体対向面を有する第1の層；

該第1の身体対向面の反対側に配置された第2の層；及び

該第1の層と該第2の層との間に配置され、かつ吸収材料を含む第3の層を備える吸収装置であって；

該第1層の少なくとも一部が、平面からかなり外れた外形を有する、前記吸収装置。

(構成2)

前記第3の層が、吸湿性材料を含む内部コアをさらに備える、構成1記載の装置。

(構成3)

前記内部コアが、障壁材料によって前記吸収材料から分離されている、構成2記載の装置。

(構成4)

前記内部コアが、活性剤をさらに含む、構成2又は3記載の装置。

(構成 5)

前記活性剤が：消臭剤、抗菌剤、痔疾緩和剤、及び麻酔薬のうちの1つ以上を含む、構成4記載の装置。

(構成 6)

前記第1の層が、装着情報を使用者に提供するためのグラフィック要素を備える、構成1～5のいずれか1項記載の装置。

(構成 7)

前記第2の層が、装着情報を使用者に提供するためのグラフィック要素を備える、構成1～6のいずれか1項記載の装置。

(構成 8)

前記第2の層が、装着情報を使用者に提供するためのグラフィック要素を備える、構成1～7のいずれか1項記載の装置。

(構成 9)

前記身体対向面が、複数のディンプルを備える、構成1～8のいずれか1項記載の装置。

(構成 10)

前記身体対向面が、接着部分を備えていない、構成1～9のいずれか1項記載の装置。

(構成 11)

前記平面からかなり外れた外形が、回転楕円体である、構成1～10のいずれか1項記載の装置。

(構成 12)

前記第2の層が、1つ以上の取り外し用タブをさらに備える、構成1～11のいずれか1項記載の装置。

(構成 13)

前記第1層が、1つ以上の折り目をさらに備える、構成1～12のいずれか1項記載の装置。

(構成 14)

複数のディンプルを備える第1の身体対向層；
該第1の層の反対側に配置された第2の層；及び
該第1の身体対向層と該第2の層との間に配置された内部コアを備える吸収装置。

(構成 15)

前記第1の身体対向層が接着部分を備えていない、構成14記載の装置。

(構成 16)

前記内部コア層が、吸収材料を含み、かつ任意に活性剤を含む、構成14又は15記載の装置。

(構成 17)

前記吸収材料が、コーンスターチを含む、構成16記載の装置。

(構成 18)

前記活性剤が：消臭剤、抗菌剤、痔疾緩和剤、及び麻酔薬のうちの1つ以上を含む、構成16又は17記載の装置。

(構成 19)

前記第1の身体対向層及び前記第2の層の少なくとも1つが、装着情報を使用者に提供するためのグラフィック要素を備える、構成14～18のいずれか1項記載の装置。

(構成 20)

前記第2の層が、1つ以上の取り外し用タブをさらに備える、構成14～18のいずれか1項記載の装置。

(構成 21)

前記第1の層が、1つ以上の折り目をさらに備える、構成14～18のいずれか1項記載の装置。

(構成 22)

構成1～13のいずれか1項記載の装置を対象の臀裂内に少なくとも部分的に配置するステップを含む、対象の痔疾を処置又は予防する方法。

(構成 2 3)

前記装置を配置するステップが、該装置を前記対象の痔疾部に接触させ、かつ/又は該対象の肛門周囲組織に接触させて配置するステップをさらに含む、構成22記載の方法。

(構成 2 4)

構成14～21のいずれか1項記載の装置を対象の臀裂内に少なくとも部分的に配置するステップを含む、対象の痔疾を処置又は予防する方法。

(構成 2 5)

前記装置を配置するステップが、該装置を前記対象の痔疾部に接触させ、かつ/又は該対象の肛門周囲組織に接触させて配置するステップをさらに含む、構成24記載の方法。

(構成 2 6)

構成1～13のいずれか1項記載の装置を対象の臀裂内に少なくとも部分的に配置するステップを含む、対象の肛門付近の体液を吸収する方法。

(構成 2 7)

前記装置を配置するステップが、該装置を前記対象の肛門周囲の皮膚に接触させて配置するステップをさらに含む、構成26記載の方法。

(構成 2 8)

構成14～21のいずれか1項記載の装置を対象の臀裂内に少なくとも部分的に配置するステップを含む、対象の肛門付近の体液を吸収する方法。

(構成 2 9)

前記装置を配置するステップが、該装置を前記対象の肛門周囲の皮膚に接触させて配置するステップをさらに含む、構成28記載の方法。

(構成 3 0)

構成1～13のいずれか1項記載の装置を対象の臀裂内に少なくとも部分的に配置するステップを含む、対象の肛門付近の痒みを予防する、低減する、又は消失させる方法。

(構成 3 1)

前記装置を配置するステップが、該装置を前記対象の肛門周囲の皮膚に接触させて配置するステップをさらに含む、構成30記載の方法。

(構成 3 2)

構成14～21のいずれか1項記載の装置を対象の臀裂内に少なくとも部分的に配置するステップを含む、対象の肛門付近の痒みを予防する、低減する、又は消失させる方法。

(構成 3 3)

前記装置を配置するステップが、該装置を対象の肛門周囲の皮膚に接触させて配置するステップをさらに含む、構成32記載の方法。